京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲一ヶ年前金三圓五十錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日(休刊)
廣告料 ▲五號活字十七字詰一行金[illegible]
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 [illegible]
發行所 京城[illegible] 京城新報社
仁川支局 仁川宮町三丁目
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

雜録

●滊車の六分間

晩香生

朝鮮坊と來ては現內務大臣原敬朝臣も三舍を避けると曰ふ吾輩、例になく午前八時に眼が覺めた、別に之と曰ふ目的もなく家を飛び出し、うつら〳〵南大門の驛の前に來た、驛夫君が豆腐屋宜敷と曰つた様な風でチリシ〳〵と五分鈴を鳴らして居る、時計を見ると八時三十五分、今日は一つ龍山に行つて見やうか、扨電車にしやうか、滊車にしやうか、夫ともよしにしやうか、思案投げ首の眞最中又もや驛夫先生が仁川行き〳〵とどなつて居る、今日は滊車賃には心配はない、昨夜〇〇へ上がつて一圓紙幣で八十錢の勘定をすましたれ釣の二十錢が袂に入つて居る以上は天下泰平である、と曰ふ勘定から滊車に乘つて見る氣になつた、出札口へ行くと三等出札掛太田ミツホと記してある女名前の札がぶら下がつて居る、何だかやさしい様な、美人の様な婦人と想像される、やがて大枚二十錢玉を放り出すと、何處ですかと問ふたの聲即ち太田女なるべし、龍山ですと吾輩が答へると、一錢の許ばらい十四個と矢張醉ばらつた様な乘車券一枚とに交換された、之では未だ何か物足りない様な氣がすると曰ふのは即ち太田女なる方のお顏が拜見したいばかり人は惡ひと思つたが一寸窓越しにのぞいた存外想像した程の美人でもなかつた。

改札口の關所を通り越して機關車の直ぐ隣りの車臺に飛び込むや發車鈴が鳴る、間もなく車掌様の小笛が後ろの方で聞へる、滊笛一聲南大門の驛を失敬した時は八時四十分であつた、自分の鎭座ました車室の人數を勘定して見ると三十有九名、之に自分が加はつて茲に四十名である、其中に婦人がたつた一人卷煙草を吹かして居る、何れ唯物ではない、鐵道の御役人様とも覺しき方々が、ずつと十八九名薩摩の守をきめ込んでござる、唯今龍山の御役所への御出勤とうなづかれる、差引二十一二名が純粹の御客様なのである、朝鮮人は別として、御客様の中には季節が季節丈けに服装の對照が面白い、紹の羽織を着流して居るものもあれば、セルのもある、袷羽織を着て居る人もあれば、浴衣一枚のものもある、仁川にでも行く人にや新刊の「惡戰」をひろげてくつろいで見て居る人があつた、特に自分の目に付いたのは二人の商人体の若漢が新らしい「キャラコ」の紺足袋をはいて居たので大分洒落物と見て取つた、恐らく京城ならで東京よりわざ〳〵取寄せたものなるべし、やがて龍山の驛に着くと、平家方の吾黨の士も降る、源氏贔負の白切符御持參の方も見受けられたが落つれば同じ谷川の水である、時に八時四十有六分列車は直に煙を殘して去つた。

●安養拾栗會記(上)

ばんくら生

安養拾栗會を鐵道局に勤務してる連中が催した、十月七日の朝餉で臨時滊車を出すまいか出す事にしようかと、思案に迷ふたのは係員である。私は家族券を買ふたから、成たけ天氣が晴れであるように神にも祈つた譯であつた。

すると奇妙にも午前の十時半頃から灰色な雲ばかりな空に青い處を見出したのである、天は如何に私等を嬉しがらせたであらう、想像するさへ餘りがある、正午に滊車は發すとの沙汰だ天が與へた此幸福な日を、寓居に讀書は神にも濟まないと悟つて、私はて〳〵と南大門の停車場へ行つて、臨時滊車に投じたのである、此驛から乘車した者は、婦人が十五六名であつた滊車は一二等を二室と三等を二室と連結させて、南大門驛を發車した、龍山驛に着すると、非常な乘客とプラットホームに待つて居る、一同にこ〳〵として片手に籠や笊を携へて居る。細君携帶と書くと可笑いが、實際實御連中の爲めに今日の拾栗會は催されたのである。令孃や令息が引きも切らず乘車した、繁殖力の盛んなる喜ぶ可き邸と考へた、總計二百有餘名だ。

外事一束

△吉林 巡警日本賣藥店六戸モルヒネ密賣を理由とし家宅捜査の上店主來客を拘引せり領事は警官を派し辛じて取戻したるが該不法に對し交渉中と

△露淸 通商談判に就き駐露淸使の報に關稅增徵及國境百里內免稅共に協議中と△又曰く露國烏梁海境界數百淸里を占領せり此際境界確定の要ありと

△總督 高粱收穫後馬賊跳梁を憂へ各地巡防營に對し討伐を嚴達せりと云ふ

日本官製煙草大賣出
景品一千圓
敷島 大和 芙蓉 朝日
九月十九日より十月三十日迄

俳句

仁川卯月會俳句第九輯(一)

…△題、月さま〳〵△…

一千六百二十句中逆列 拔粹 上座 八十章

彩雲居 丹葉 撰

時に題し歌に題して今日の月　田吾
斷崖に登て柚の月見哉　柳仙
名月や狩屋の松に召す料紙　一杯
廻廊に花表の影や月の海　竹窓
見る物に月斗りなる今宵哉　竹賀
澄む月の下や此酒此名處　洪水
行違ふ雲待遠き月見哉　一滴
鴨綠の流れに更けて胡沙の月　竹賀
月の庭で手裏劍なんど練習せん　醉仙
鼾聲は婢僕が部屋敷月今宵　一滴
明月や小猫爪研ぐ松の幹　磐若
盃で酒飮む馬士や今日の月　洪水
辻君の面耻かしき月夜かな　哲舟
芋洗ふ桶にも月の宿り哉　松園
歸る家有つて是非無き月見哉　竹賀
月さやか北斗星の影沈む　洪水
舊暦も日は捨られぬ月見かな　白神
限なくて只さやかなり月今宵　一雫
明月や花には曇る山ながら　柳仙
滊車電車月の名處を殖しけり　一杯
より以上添ふ物はなし月の松　竹香
月の座に缺けたる友を偲び鳧　洪水
松園

◎新刊紹介

●朝鮮家庭新聞　「虛榮の末路」は婦人必讀の文字なり活來の「大活動」は愈々序幕に入り將來の活動を想見せしむ蓋し好讀物たるを失はじ(一部四錢京城南山町三丁目朝鮮家庭新聞)

●東京經濟雜誌　「歐米瞥見所感」「淸國憲政の前途」「物價調節とは何ぞや」外數項の論評雜纂例に依つて讀み耐へあり(一部十二錢東京々區彌左衞門町東京經濟雜誌)

●新公論　本號は痛快號と銘打てる丈に字々句々大聲疾呼せざるはなし蓋し讀者は一讀英氣を養ひ快哉を呼び同時に已が新生涯に向つて奮闘邁進するの心を起すならんか(一部二十錢東京本鄉區東片町新公論社)

●幼年の友　繪畫說明相俟つて幼年の眼を喜ばしめ智識を啓發せしむるに足る編輯者の苦心察すべし(一部十錢東京々橋區南紺屋町實業の日本社)

●新報知　『簡易主義の快適生活』面白く讀まるサンデー式の編輯なれども內容は異れり(一部一錢東京大崎停車場前新報知社)

梁川庄八(やながはしやうはち)

小金井蘆洲演

第八回

枝に奧州仙臺の城下手前に岩沼と云所があります、其處に德兵衞と云老人、是れは元梁川庄兵衞の若黨を勤め、至て着實な者でありますが、併し晩年になつて奉公に耐て兼ね、暇を貰て已れの在所の岩沼へ歸ると云時に、庄兵衞が、庄『コレ德兵衞貴様は能く長らく忠實に勤めて呉た、就て何か遣したいど思ふが、知ての通り家に私財なく、身は破袴布被に過ぎずと云ふ今日、[illegible]ないから當梁川家秘傳の牽疲膏の調製を傳授してやるから、此品を賣弘めて老を養ふ資に當てよ』と牽疲膏と云藥の調劑を敎へて呉れた、此品は梁川家傳の膏藥で、鎧兜を着ける如何に勇士でも、肩が凝る頭が重くなります、梁川家傳の此藥を貰て貼ると、奇妙に直ぐ凝が取れる、施藥の事ですから人々[illegible]して貰ひに來る、自然と評判に成て在方城下の者まで、肩腰で張る者が貰ひに來る、夫を授けて呉れて公然賣弘めよと云のですから、德兵衞は難有く承はつて、岩沼へ歸りまして梁川樣家傳の名法牽疲膏と云看板を出して賣出すと、サア德兵衞が梁川樣を[illegible]頂く時に名法を御傳授に成たのだ、と遠近に擴まつた買ひに來る、今迄賣物でなかつた者だから却て賣れ、夫が爲に家計も豐になり、奉公人の七八人も召使ふ樣になり、奧州岩沼德兵衞の膏藥と云つて大繁昌を致しました、江戸表にまで百拙の出店が出來る位、德兵衞さんの膏藥は夜いやこれやには利かねども坏と女小供が俗謠にやつたと云事です、庄兵衞は此德兵衞に息庄太郎の養育を賴むと云遺書一通、庄太郎へ宛た庭訓の遺書一通、又和田但馬に息へ文武兩道の敎授を賴む遺書一通、を認め殘して、黯然として悲み慘然として悼み、滂沱たる熱涙禁ずる能はず、恥辱の恨を呑んで屈腹して相果ました、時將に慶長六年十月三日享年卅九歲……、召使の者が後れて主人の變死を知て、大に驚き直樣、其筋へ屆出で一方岩沼へ人を馳せ、榴ケ岡の和田先生の許へ急を報せました、人々取る者も取敢ず驅付る、庄太郎德兵衞の慨ぎは一方ではない、和田但馬は遺書を見て萬感交々胸に迫り悵然血涙を催した、所で訴に依て檢使の役人が出役、但馬が遺書は祕にして披露は致しません、只亂心切腹と云ふ事に致しました、是にて家名は斷絶家藏は沒收死骸は息庄太郎に取片付仰付られた、うで川崎村の唱名寺と云のが菩提寺ですから此寺へ葬儀を營む、住職永禪和尙が生前深交が有たのですから最と懇ろに取計ひました。家財を取片付け、召使の者には夫々手當を遣し暇を出し、一先づ和田但馬方迄德兵衞庄太郎の供をして引取りましたが、其遺書を見て跡追駈けて死たい程に思ましたが、庄太郎の養育を賴むと云ふ遺書、死ぬにも死なれず、此の上は庄太郎を成人させ御家を、再興させやうと決心をした、庄太郎に宛た遺書は、初腹の事情を明らかに認め和田先生に師事して、智を研ぎ德を修め能く困苦を忍び艱難に堪へ、人となり梁川の家を興し父の憤怨を晴せ、と云庭訓、德兵衞は庄太郎の敎育を懇に賴み入れ岩沼へ立戻り、一意故主の追福を營み庄太郎の出世を祈る、庄太郎は其後悲歎胸に逼り爵々として居りましたが、和田但馬が種々慰め勵ましましたために、心機一轉して文武兩道を出精致します、性來の色白の病性も癒つて元氣付て參り、顏の色艶も好くなり身体も肉が肥て來て、是迄は左のみ力量もなかつたのが、急に力が出て大概な重量い者でも平氣で持てる樣になりました。身体の健康になるに從つて學事も追々進んで參ります、盤根錯節は是れ豪傑を鍛煉する一副鑪なり、と云ますが實に其通りで今迄の虛弱とは違つて異人の樣になりました、著しく弓馬体鎗劍共に上達致しましたが、就中馬を好んで甚んな癖のある荒馬でも乾度乘りこなす、夫に水練に妙を得て如何なる激流でも平氣で泳ぐ、總べて他の門下より一歩進んで居ります、其內に十八歲を迎へましたが時は、文武兩道共秀でし遁れの武士と相成りました、茲で元服をして梁川庄八正國と相成ります

廣告

電話賣物 百三十何番御入用へ方は千三百八十二番の

眼科 移轉診療
左の處に從前の通り診療致候
京城明治町三丁目本通り(東洋拓殖會社南側)
江頭眼科醫院

御待兼の新栗製 栗羊羹 栗饅頭
京城本町 和洋菓子舗 貞島寒水堂 電話一四一番

澤庵漬込の時期は愈々目前に迫れり
極上等一本撰十七貫詰新澤庵漬壹挺
二千樽限り 特價金參圓卅錢にて
本月中漬込御注文に應ず
京城南大門通り二丁目
東京澤庵問屋 中嶋屋 電話九〇三番

名譽銀牌受領 キリンビール

工事の大小に拘らす仕事は凡て確實を旨とし最も懇切に且つ安價に引請可申候間何卒御用命願上候
土木建築 請負業
仁川 杻峴驛前 井上源次郎 電話四三四番

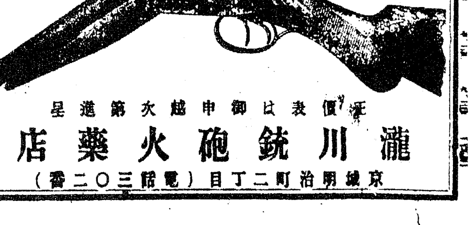
內務省免許 產婆 內地病院其他に拾數年間開業
[illegible]町六十番地 電話一〇四六
相島しか子

獵銃 獵具 火藥
增戸銃砲店 京城本町六丁目

銀行一般の業務精々御便利に取扱申候
京城黃金町(銅峴)
株式會社 十八銀行支店 電話四二〇番 五八〇番
○本店 長崎市
○日本、朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、淸國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候
◎貯蓄預金
○元金百圓に付日歩一錢二厘
○一口一錢以上何程にても御預り申候
貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

耳鼻咽頭喉頭 氣管氣管枝病 專門
診療時間 午前自九時至十二時 午後自二時至六時 日曜祭日午後二時迄
京城本町二丁目 石田耳鼻咽喉氣管病醫院 電話一七〇九番
前京都醫科大學耳鼻咽喉科敎室醫員
前韓國立漢城病院耳鼻咽喉科部長 石田誠

一煖爐用煉炭
右三井物產株式會社京城出張所に一手販賣を約し發賣せしむ
平壤鑛業所
平壤鑛業所にて其採掘に係る無煙炭を原料として製造相成たる煉炭の一手販賣を弊社に御下命相成候に付ては多少に係はらず御用命の程願上候
京城本町一丁目 三井物產株式會社出張所
追て左の店に小賣取扱はしめ候間便宜御下命願上候
京城古市町(電話九四一番) 苫米地造酒彌
平壤綠町(電話五〇一番) 中村組出張所
鎭南浦東五(電話一〇七番) 中村組


定價表は御申越次第進呈
瀧川銃砲火藥店
京城明治町二丁目(電話三〇二番)

外國特電

●伊土戰爭問題●

▲土國の伊國人放逐中止 駐土伊國大使は土國宰相に對し在任の伊國人を一時に國外に放逐せんとするは列國の同情を失ふものなりと注告したる爲め放逐を仲止したり（伯林發）

▲土國說明を求む 土耳古國は各國大使に同文の覺へ書を送り土耳古皇帝の主權を保留し且つ他の規定を設けてトリポリーを放棄するは伊國仲裁條件の基礎となるべきや否に就き說明を求めたり（伯林發）

▲北部伊人激昂 開戰後伊國北部の住民は頗る激昂シロトリート、イターンス、アルバニャの割讓を希望しつゝあり

東京電報

▲日淸協同製鐵場 大倉喜八郎氏と淸國政府との間に協定成り本溪湖に於て資金四百万圓を以て製鐵場を設置することになりたり

▲土國の哀求と輿論 土國政府は列國へ對し調停を哀求したる爲め歐洲の輿論は沸騰せり

▲伊國海軍の活動 六十隻の運送船を護衛せる伊國艦隊は九日出動外國の從軍武官及總司令部と共に戰地に向ひたり

▲土國宰相信任問題 土國は十四日議會を開き宰相の信任の投票をなすべし

▲葡國議會開會 葡國は十六日臨時議會を開き捕縛したる王黨員の處分を附議すべし

▲淸國湖北暴動 淸國武昌及嘉定に又々暴動あり嘉定は陷落し武昌總督衙門は燒打せられ漢口にても爆彈製造者を捕縛し大騷動起り官兵も反抗の模樣なり

▲財政方針決定 政友會內閣の一異彩たる山本藏相の金融政策は一般に注目する處なるが藏相は就任後間も無く日本銀行の金利引上げを斷行し其所信を示したるが金融政策に對しては中外に開放せる一定の方針に依りて內閣及び前內閣或は政友會內の反對を排除し飽くまで通貨を減縮し物價を引き下げ一般經濟界の恢復を計らんとの決心にて其方針に反する金融政策は根本より是を改革せんとて既に其方法を確定し西園寺首相の同意を得たれば從つて明年度豫算に關する大藏省の態度として新事業又は通貨膨脹せしむべき計畫或は無用の公債償還等は絕對に是を排斥する筈なり

●朝鮮學校官制 十一日の官報を以て教育令に伴ふ左記學校官制發表されたり

京城專修學校、京城高等普通學校、平壤高等普通學校、京城女子高等普通學校、朝鮮公立實業學校、朝鮮公立普通學校

●特別任用令公布 京城專修學校職員其他特別任用に關する件公布されたり

●朝鮮法學校廢止 朝鮮法學校廢止の件公布されたり

▲東宮殿下行啓 皇太子殿下には來る十五日新橋御出發名古屋に於ける騎兵特別演習及び豐後水道に於ける海軍演習を御見學遊ばされ二十八日御歸京の御豫定なり

▲東宮妃御全快宴 皇太子妃殿下は病氣御全快の祝宴を催され各皇族及宮內官多數を御招き遊ばさる

▲加藤大使辭せず 加藤大使は予の辭職說を傳ふるものあるも全くの臆說にして予は來年四月再び倫敦に歸任すべしと語れり

▲低利資金貸出額 地方公共團体に貸出すべき內務省所管低利資金壹千万圓の內十日迄に貸出許可を指令したるは四百六十万五千圓にして先月末迄に全部指令を爲し終る筈なりしも貸出條件の不備其他書類上の遺漏より意外に遲延せるが全部指令濟となるは十二月中旬なる可し

▲米鑛業視察團來る 米國鑛業視察團員一行男女六十八名は本邦の鑛業視察の爲め十一月三日橫濱着來朝し東京、京都、奈良、大阪、神戶等の名地を巡覽し瀨戶內海を經て四坂島住友精錬所を參觀し宮島に出で同地に一泊夫れより九州名地の鑛業を視察し古蹟名所を探り二十日橫濱より歸國の途に就く豫定なりと

▲我軍人の從軍 靜岡工兵少佐は伊國軍隊に從軍してトリポリに向ひたり

雜報

●教育令と諸法規 朝鮮教育令は愈々來る十一月一日より實施すべしとは既報の如くなるが該令實施に伴ふ各官公立學校官制は東電によつて報せられし如く十一日の官報を以て發表されたる旨其筋に公報ありたる由なるが同官制實施の附屬諸法規並に學校職員特別任用に關する細則も既に立案査定濟となり居るを以て一兩日中に發布さるべし

●最近內地金融 日本銀行の調査に依れば各種の商品は倉庫用期に入り農家の厄日も又平穩に經過し本年は米作が大豐作なるは疑ふ可からざる所にして市場は漸次活氣を帶び來り金融界繁忙を呈し各般の事業資金及各種の見越輸入亦減退し來り資金の需用增加し市中のコールの如き一錢五厘を唱ふるに至り歐州金融市場に於ける秋口需用並に外交問題の警戒も解けず英佛獨墺伊各國中央銀行總て金利を引上げ日本銀行も二厘方引上げたる次第にて本月中に於ける東京市中の物價は商品五十餘種中先月に比し騰貴したるは米大麥裸麥日本酒醬油等四十三種の多きに達し下落したるは金巾外二種に過ぎずして平均二分五厘七毛の騰貴を示せりと（東京特信）

●水電調査の程度 通信局に於ける本年內の水力電氣調査の程度を聞くに技術員其他の都合上年內には京城附近の各河川並に臨津江まで調査すべき方針にて目下夫れ〳〵準備に取掛り居れりと云ふ

●水力發電地點測量着手 通信局にては過般來第一回水力電氣踏査の爲め松浦技師を出張せしめ專ら漢江流域を踏査中なりしが右一部の踏査を終へ此の程歸任したるが調査の結果發電地點六七ヶ所發見したるを以て近日測量班を派遣し實地測量を行ふ事に決定したりと

●關釜連絡改善 鴨綠江架橋の竣成と共に安奉線は十一月三日を以て開通すべく準備せられ居るが是と同時に朝鮮總督府鐵道局に於ても既記の如く歐亞聯絡に處すべき方法として現行隔日の夜行列車を每夜運轉するの計畫なるを以て鐵道院に於ても差向き關釜連絡船每夜航の外現行の隔日晝航便を每日に改め十二月一日より實施すべく先頭まで同航路の備船たりし元日本郵船の薩摩丸を借入れ當分晝航船として使用すべき事に決定し居るを以て今後同航路を使用さるゝ船舶は貨物專用船を加へて六艘となり總噸數に於て一萬三十餘噸を算する勘定なるが固より這は當分應急の處置たるものなれば甚だしく不經濟に流るゝを以て目今川崎造船所に於て建造中なる三千噸二艘の竣成を待つて之に現在の梅が香丸櫻丸の兩船を加へなば先づ以て當分の缺點を補ふに足るべく即ち舊來の壹岐對馬兩船の如き元山陽鐵道が特に此の航路に使用すべき目的を以て建造したるものなるが故に一般の設備に遺憾なきも而も一等客室は僅に十三を數ふるに過ぎざるを以て已に時世に遲れたるものとせざるべからず此の點に於て新造大型船は各四十の各室を有して特に夜航に使用すべき目的に向つて總ての設備を爲し居れば今後一兩年の內には幾分面目を改むるに至るべく且航海時間の如きも現在の滊船が各十一時間を費し居るは營業經濟の調節上殊更に速力を牽制し居るものもあれば梅が香、櫻兩船の如き快速力を以てすれば是を七時間位に改むる事敢て難事に非ざれば今後歐亞の連絡成りて相互の聯絡頻繁を加ふるに至らば發着機構の完成を初め幾多の改良事業を加へて多々益々改善を要するに至るべし

●調査規定の審議 水力電氣調査の進捗に伴ひ調査員及測量班の技術並に庶務等に關する規定に付十二日より二日間通信局に於て岡本工務課長以下各技術員列席右規定の審議を行ふ由

●鑛業處分數 客月中總督所に於て全道を通じて鑛業及砂金の處分件數百四十二件にして同諸手數料八千二十圓なるが之れを各種別に記せば鑛業許可件數四十五、砂金同十三件其他の許可及讓渡登記許可取消抵當權設定廢業等通じて八十四件なりと

●警備機關增設 警務總監部及憲兵司令部共從來密集制度を採用して暴徒の蜂起に備へたりしが最早各地共暴徒の出沒なく極めて平靜なるを以て此際密集制度を廢して分散配置を爲すに決し既に警察側に於ては本月一日より實施しつゝあるが憲兵司令部にても十月二十日頃より分散配置實施の豫定にて其結果增置さるべき分遣所派遣所及出張所は左の如し

京城憲兵隊管內二五、淸州同一二、公州同一五、晉州同二〇、全州同一九、光州同一五、春川同二三、咸興同一七、鏡城同二三、義州同二〇、平壤同三五、海州同一八

然して右增設に要する經費は約三萬圓なりと云ふ

●鳥居氏の人類研究 人類學者總督府囑託鳥居龍藏氏は目下咸鏡南道に於て斯學の研究を爲し居れるが客月二十四日より三十日迄の間に於て咸興にては二十四歲以上三十歲以下の鮮人男女二十二名を又五老里巡査駐在所にては二十歲以上三十五歲以下の鮮人夫婦五組を集め精細なる体格調査を遂げ之を撮影し又咸興公立普通學校に於て約三百名の聽衆に對し亞細亞人種なる題下に約一時間に亘る講演を試み散會後方高山古戰場に於て古墳四個所を發掘したるに其一ヶ所より男女の頭蓋骨各一個並金製指環類似のもの一個を發見せりと

●李王總督邸御成 李王殿下には寺內總督歸任に付き慰勞の挨拶旁十三日午前十一時昌德宮御出門總督官邸を訪問さるべしと

●全道內地人口 最近調査によれば朝鮮全道に於ける內地人々口は十九萬三千五百四十二人戶數五萬七千九百八十二戶にして昨年の同日に比すれば人口に於て三万五千二百六十七人戶數に於て一萬一千二百四十三戶の增加を示せり而して十三道中內地人の最も多きは京畿道にして慶南之に次ぎ最も少なきは咸北にして平南は其次位にありと

●內地人の所有地價格 京城民團內に於て現在內地人の所有する土地は左の如し

△宅地四十六万六千五百四十坪、此評價五百四十万千三百圓△畑地六十六萬三千九百六十坪、此評價四十七萬六百五十圓△山野池沼六千三百四十坪、此評價千九百圓△計百十三萬六千八百坪此價五百八十九萬三千八百五十圓

因に此に評價額と稱するは民團の課稅標準を云ふものにして時價は評價額の三倍に相當すべし

高麗古都雜觀（三）

附勝地彩霞洞 スイロー生

檜垣道長官と其隨行者とを客にしたる開和館は頗る取込んで見れた、ソコで遠慮の氣味で、宛がはれたる一小室に陣取り、極めてオトナシク息をヒソメて居た、訪客あり齋藤警視、上林局長朴郡守以上の三君は道長官と共に今授產場から來られたのであつたが、余等三人茲に在りと知つて刺を通せられたのであつた、時に何人の聲や掛りけん檜垣君の隨行者等は其占領せる二室を明渡して余等三人に讓つた、ソコで余等三人はれ蔭で足を延ばすことが出來た。斷つて置くが、余の此地に遊ぶは今度が四度目である、而かも靴を脫ぎボタンを外し、一夜を此地に明かすのは今度が始めてである。

七日朝、余等三人は上林、齋藤兩君の東道に因り探勝の爲め開和館を出でた、まづ第一に見たのが關野博士に仍つて世に出た南大門の梵鐘、次が鄭圃隱の書址松陽書院、ソレから登つて虎亭の弓場、此所で小憩、一鮮人に弓をヒカせて見た。弓は半弓矢は到つて小、而かも彼れ一度放てばウナリを發し、矢は三百間先きの的を目掛けて飛ぶ、去年寺內總督の此弓場に遊ぶや、弓手ゴ馳走として征矢三本を放つ、其矢二本迄が過たず、京の三十三間堂も物かは遠く三百間先きの標的に中る、總督弓手の術を偉なりとし賞するに金一圓を以てす、爾來弓手仲間に此評判高く、一旦廢れんとせし弓術も今は再び昔日の盛に復す。虎亭を下れば此所は高麗の忠臣鄭夢周が李成桂の爲に命を失ひしところ、血痕今に新なりとは眞更空事にも非ず。一老婆の長き竹竿を持てるに會す、傍人余の爲に說いて曰く、彼老婆は彼の竿を以て栗繭を落す、而して栗繭や老葉に落され、集められ、商人に買はれ、今や移出品として大阪に送られ、其價額一ヶ年數万圓に達すと、アー栗に對する害蟲も善用すれば是れ富の一部、暗黑と光明とは必ずしも他人には非ずか。

善竹橋を去つて滿月臺に登り、少時逍遙の後ち下つて開城農園を見、ソレより今日が開通との新道に人車を馳せ、郡守朴君の所有なる彩霞洞にと行た。彩霞洞は其名の如き勝地、開城を距る僅か一里、而かも今日迄は人車不通の爲杖を曳く者とてはあまり多くはなかつた、本日余等三人朴君の招ぎにより偶然にも新道の爲に開通式を擧ぐ、從つて余等は此勝地を世間へ紹介するの責任を帶びた譯だ。トワ云へ、余の禿筆を以てしては迚も此勝地を寫すことは出來ぬ、故に玆には冗文を省き、苟しくも開城を訪はんほどの人には是非共彩霞洞に一遊を試みんことを勸める。午後五時興未盡きざるに橫尾囑長の命令とて辭むに由なく、一度旅舍に歸り、支度も匆々八時ナニガシの急行に乘り惜しき別れを開城に告げた。此行上林局長、富家技師、齋藤警視及朴郡守には少からずれ世話になつた茲に記して謝意を表すと爾云。

●仁川商議總會 仁川商業會議所にては十一日午後八時十分民團樓上に於て總會を開催す出席議員十七名にて議案（一）四十五年度豫算の件は原案通り可決（二）四十五年度賦課徵收方法に關する件は原案に各有權者の等級調査に付て土地稅家屋稅營業稅及戶別割等を標準とせしを更に營業稅及營業狀態とを參酌する事に改め總會に於て委員九名を設け之を調査せしむることに決し委員は議長の指命とし（三）定款改正の件は原案に多少の修正を加へ可決し同十一時三十分閉會せり

●會議所の役員會 京城日本人商業會議所にては十二日午後三時役員會を開き會頭問題及び米穀稅撤廢問題に就き協議するところありたり

●東拓の氣溫觀測 東拓會社にては朝鮮に於ける一般農事經營者の參考に資する爲め本年六月より各地出張所及び氣溫觀測所に依賴して雨量及び氣溫の觀測を爲さしめつゝあり昨今のところにては未だ全道に及ばさるが今後は追々全道に亘りて觀測し完全なる統計を作る計畫なりといふ今左に京畿道外七道に於ける九月中の雨量並に氣溫の觀測を揭げんに

京畿道（雨量二二三一粍蒸發量八九粍）平北道（同一一八粍同上九四粍）黃海道（同四六五粍同一〇三）忠淸南道（同二二五粍同七八粍）全羅北道（同一七八粍同一〇一粍）慶尙南道（同二七二粍同九五粍）全羅南道（同三八四粍同一一〇粍）

●天長節祝賀準備 來る十一月三日の天長節には京城民團の主催にて長谷川町の圜丘壇に於て日鮮人合同大祝賀會を開く筈にて目下其準備中なり

●德壽宮の午餐會 德壽宮李太王殿下には十三日正午李王殿下を召され午餐會を催さるゝ筈

●龍山小學校の運動會 京城民團立龍山尋常高等小學校にては來る十五日午前八時半より同校構內に於て秋季運動會開催す當日雨天ならば十七日に開會すべしと

●高女及日出校運動會 京城民團立高等女學校及び民團立日出尋常高等小學校にては來る十四日午前九時より獎忠壇に於て聯合運動會を開催すと但し當日雨天の節は十七日午前九時より開くべしとの事なり

●大倉氏の來京 大倉喜八郎氏は滿州よりの歸途京義線にて十一日午後十時南大門驛着入京天眞樓に投宿したり二三日滯在の由

●佛國領事の訪問 佛國領事グラン氏は十一日午前十一時半憲兵司令部に明石少將を訪問しベラコ將軍滯在中厚意を受けし謝辭を述べたり

●小松長官の歸任 東上中の小松總務部長官は十一日夜南大門驛着歸任し十二日より登廳したり

●赤倉書記官廣梁灣行 專賣局の赤倉書記官は十二日出發廣梁灣に赴きたり

●岩崎仁川民長來京 仁川民長岩崎直英氏は十二日午前來京寺內總督を訪問し即日歸仁せり

●島重治氏の出發 內務省技師に轉せし島重治氏は既報の如く十二日午前八時〇五分仁川發列車にて東上折から宮本稅關長の東上出發あり見送人は航路標識管理所員一同及在仁官民有志多數なりし

●客月中漁業處分 總督府に於て客月中各地漁業に付直接處理したるもの日鮮人通じて二十八件なるが漁業地は主として咸鏡南北道及慶尙南道等にして中內地人二十六件鮮人二件なり

●電話使用の度數 京城市內に於ける電話の加入者總數は九月末日間にて一千九百九十一なるが通話度數は同月中に六十一萬七千百三十六回にて之れを一電話に平均すれば一日十回强となるなり而して自働電話が同月中に八百十六回にて市外への通話が一萬二千六十七回なる旨京城郵便局は發表したり

公人私人

▲大倉喜八郎（用達業）十一日天眞樓
▲千阪駒次郎（海軍大佐）十二日朝鮮艦
▲古賀賢吉（海軍少佐）同上
▲三善藤太郎（機關少佐）同上
▲西新太郎（海軍主計少監）同上
▲吉田鑑（海軍軍醫少監）同上
▲安田篤（新聞記者）十二日釜山行
▲高田慶次郎（判事）十一日春川行

▲京城手形交換高▼

十月十二日 金高 一八八、〇九八、三一〇 枚數 一〇六三

▲茶袋▼

內閣交迭後に於ける官僚系御用紙の論調は俄かに殺氣を帶びて來た、離間中傷捏造等、苟くも現內閣の政針を傷けんとする事は一として之を爲さゞるはなしといふ有樣を呈するに至つた、這は要するに敵黨と擬せしものに政權を握られたのが口惜しいからであらうが、アマリに服の中が見透さるゝ▲政黨政治輿論政治は既に時代後れであるとは、官僚紙の常に唱ふる所であるがこれ明かに代議政體を目して時代後なりと呪咀するものであつて、即ち立憲政体破壞の危險思想を鼓吹すると同じである、吾輩は世に恐るべき危險物として第一に官僚系の御用新聞を推す▲追々と政治季節に近づくと共に非政友聯合を策する者チラホラと現はれる併し彼等策士の所謂中央派と國民黨の握手計畫は到底効を奏すまい▲全体國民黨中の純民黨分子は絕對に中央派を嫌つて居る、中央派と握手する程なら寧ろ現內閣を援けて立憲政治を完全に行はしむるに如かずと云つてゐる連中も此純民黨分子即ち犬養系の者に多い▲政友國民兩黨は理想に於て一致すべき筈のもの、互ひに理想の實現に努めなば自然提携の必要を感ずるに至るべきものであるとは、此頃國民黨の機關紙によつて仄めかされつゝある▲現內閣成立當時の國民黨の態度といひ、此頃國黨機關紙の論調といひ彼やコレやを綜合して考ふると、非政友同盟よりも政國兩黨の純民黨分子が握手する期か、或は早く來るかも知れぬ。

本願寺經營 行路病者收容所の三十分(一)

白面子

貧樂寒に苦のある筈が無いと思はるゝ程に全盛な花月、井門、掬翠、清華、松葉、開進亭等の組さん達も移り變りの算段には隨分苦勞をすると見ゆ夏痩せもせぬ達者な人が天高く馬肥ゆると云ふ好季節に抑つて瘦を見せてるがある、哀れと云へば哀れだが夫れは榮躍の餅の皮、夫れに引き變へ此は又此

寒空に病める身の越し方行く末思ふては薄き單衣の袖袂に涙を絞る行路病者收容所の實況を見るべく思ひ立つた、タシカ本年の七月で有たか南部署の井口警部が同所を視た當時收容患者の多くが酷暑の候なるにも拘はらず綿入や袷を着て居たので同氏は『病氣で寒いのか』と訊くと『寒い所ぢや御座いません非常に暑う御座いますが此の他には衣類が無いので』と男泣きに泣いたもあつた相だ、井口氏は歸署早々今村署長に斯くと報告した結果が即ち署長の料理屋組合に對する衣類寄附の勸告となり次で其の寄附を見た事は當時の紙上に披露した、其後何うなつて居るか

九日の午後四時 家を出づ、南山町二丁目より三丁目に折れ高等女學校の運動場の前を通り蒐つて不圖見ると校庭にては來る十四日奬忠壇に於て催さるべき秋季運動會の豫習中だ、ナカ〳〵面白いので人が澤山立つて見て居る、僕も仲間入りをしてグラ〳〵笑つてると輕く肩を敲いた人がある見ると鬼を殺した菊家の秀香拍子だ『何方へ』と云ふ『本願寺さまへ御參詣に』と云ふ『マア大若いのに感心だワホントウに』とさして感心した樣子も見せず口の先だけで感心して居る『感心した序に何うか感じんものかしら』と感心せぬ事を申上げる『大人達ひの樣に氣が!たゞ』『ホ、、チトれ遊びに』阪を下りて行く、背後姿を見送つて僕は南山から吹き颪す風を正面に受けて本願寺の裏門を入つて表門の方へ出ると其所に本願寺別院行路病者救護所の看板が掛けられて**右は男子部左は婦人部**とある、

本堂に向つて正しく敬禮して右男子部の方に入ると上り口の右の一室に診察室とある左の一室には破れ障子を閉めて二人の瘦せ衰へた收容された所謂行旅病者が汚れ朽ちた蒲團を被つて臥て居る『御免』と聲を掛けると一人の方が踉跟乍ら出て來た『一寸室を見せて貰いたい』と斷つて順次見、行く、其先の**一室には四名の病者が雜然**として臥て居る中には頭部から面部へ掛けて繃帶して居るのもある『何うかね』と聲を掛けて一歩室內に足踏み入れた僕は卒然として鼻を襲ふた形容すべき言葉の無い**一種の惡臭に中毒して危ふく卒倒せ**んとして辛くも柱に其身を支ゆた(つゞく)

藝妓と娼妓の悶着

▽藝妓代表者玉家の小金
▽娼妓代表者日暉樓萬〇

京城花柳界の利け者の一人岩本英夫君は豫て臺灣總督佐久間大將の依賴を受けて土地買入盡力中の所此程終了せしより大將より誠に御骨折御苦勞に存ずると金一封を添ゑた禮狀を受取つた十日の夜此れも本件に關し少からぬ盡力をした某と共に錦道樂に張られたる慰勞の席に侍つたのは玉家の一統小金、花蝶牛玉のとんぼ、金彌至極賑かに機嫌よく飲つて居た岩本君急に新町行を思ひ立つて皆の者伴なせいとて鶴屋式の下駄を引き摺つて立ち出でられしにぞ小金、花蝶の兩人は新町女郎衆の面を見て呉れんの下心あれば大喜びで綴讓りの二本の腳も順はに旭町から新町までの伊勢屋式旅行に裳廻しを切つては塞らすき裾高々と取上げて續きたるがとんぼ、金彌の兩豆助はタダでは嫌だとダダを捏ねるを花簪や繪葉書にて調子を取り〳〵無事に大和町梅の家前に差し蒐つた時分には發頭人の岩本君さは流石に疲れを覺えたる程なれば女連中はハア〳〵肩で息する始末に少しでも近道と畠の中を横切らんと膝栗毛の足並揃へて小溝をポイと飛ぶ拍子にチャリ落ちて着衣の裾は泥だらけとなつたりける程に金彌は『れ父さんに叱られるよう、れ父さんに叱られるようヨボ車にでも乘れば此樣事はないんだア餘り儉約するからだア』と甚だ他聞の惡いことを喚き立て〳〵泣き叫ぶをヤツトの事で賺し慰めて繰り込んだのが京城樓、淡泊飲んで引き揚げたのが日暉樓、岩本君の敵妓は同樓切つての美形萬〇、ピッタリと岩本君の側に座つたが小金拍子の美しい顏を見ると岩本君に向つて『オヤ町の藝妓衆にも彼樣美しい女が居るの』と云つた當人は何んの氣なしに云つたのだが云はれた方の身に成ると町藝妓全体の顏にも係る言ひ條とグッと癪に支へた小金が『オヤ乙な音を吹くねね、妾の如なれ多福よ、寢てからにれ仕、花魁の餅に生意氣だよ』と眞劍に劍香を食はせたるに萬〇何條默つて居よう『オヤ〳〵〳〵大層れ前さん威張されてれ在でだね、何だつて他が默つて聞いて居れば好い事にして花魁の餅に生意氣だつて……笑かしやアがらアド淫賣の餅に、誰がれ前さんをれ多福と云つたよ、繼母育ちでもあるかして乙ふ捻くれて居るよオイ、妾がね『町の藝妓衆にも彼樣美しい女が居るの』と云つたのわね、町の藝妓は藝さわあれば顏は何うでも宜いものだと聞いて居たからだよ、聊か面に凹凸があつたからとて祭の獅子みたいに大きな口を叩きなさんなよ』『オヤ〳〵〳〵、、木魚の生れ變りか何ぞの如に大層もない音を出すねモウ勘辨が……』と姫御前の身のあられもない大悶着『マア〳〵待つた』の留奴は岩本さん猛り狂ふ小金逹を隔て〳〵水を入れて物別れとなつたが一時は其騷戶外に漏れて日暉樓の前は黑山の如な人集りなりしと聞いたまゝを

伊院燒討の賊魁

▽面民の手に擒はる

十月八日慶尙南道安義郡西上面靈搭洞鱗閣寺(安義西北約六里)に於て去る四十年九月來部下八十餘名を率ひ慶尙南道安義山淸咸陽河東全羅北道錦山茂朱、鎭安長水礪山錦山及忠淸北道永同黃澗等の各郡を橫行し鐵道妨害を爲し殺人放火掠奪等を逞ふしたる賊魁文泰洙(元鎭衞隊の下士)が潛伏せるを同面々長の發見する處となり面民と協同して之を取押へ安義分遣所より急行したる憲兵に引渡したるが同賊魁は去る四十二年末京義線伊院驛を燒打にしたる奴なりと云ふ

四人組強盜判決

▽仁川支部に於て

京畿道通津郡迭用面深洞四統十戶吳斗根(三一)同郡所伊浦面後坪里二統三戶劉達用(三六)同郡同浦沙世老里三統一戶李義泰(三二)同郡同浦麻近流二統六戶李順善(二七)の四名は去明治四十一年四月二十五日夜同郡月餘串面馱岩里趙翰九其他數ヶ所に於て金品を強奪し巧に犯跡を晦しつゝありしに去月十七日前記四名とも金浦警察署の手にて逮捕され京城地方裁判所仁川支部に護送取調中の處十一日吳斗根は懲役十年劉達用は五年李義泰は三年李順善は二年半の懲役に處せらる

頗る性急な男

▽三十錢投け出して毆らる

茨城縣人當時若草町一丁目百五十七番戶深作牛藏(三七)は十日午後七時頃南部石井洞十統九戶洪姓女(三三)が淸國人趙乘鉄の妻になり囲れ居たるに蝎甫と誤信し三十錢を投げ出し怪しからぬ擧動に及びしより洪姓女は悲鳴を揚げ助を求めたる事とて近隣の者七八名集り來り牛藏を袋叩きにしたりとて警察に訴へ反對に說諭放免さる

コ氏對李太王事件

コールブラン氏對李太王殿下の株式賣却代金引渡請求事件は曩きに第一回公判開廷ありたるも被告コールブラン氏の訴訟代理人の委任行爲不準備の爲め延期となりしが次回公判開廷期は來る十一月八日にして裁判長橫田判事原告訴訟代理人は大久保辯護士及小川平吉の二氏なり

傳染病者の逃亡

京城水標橋通り一丁目齋藤綱吉方同居の中野チカと云ふは數日來病氣に罹り十日牛前總督府醫院に行きて診斷を受けたるに赤痢病と診定せられたるに驚き歸宅する途中より逃亡して行衞不明となりさりとは惱てたものかな

元電報係の舊惡露見

▽桃山樂福樓仲居の情夫

原籍東京芝區神明町山口福三(二六)は昨年七月頃より朝鮮總督府通信管理局電報係に雇れ居たる者なるが同所に雇るゝ際履歷書中元東京深川郵便局に日給三十八錢にて雇はれたるを四十錢と僞書せし事判明し三ヶ月の後解雇されたる後知人の周旋により更に度支部營繕課寫字生に雇はるゝ事となりたるも根が怠惰者なるより勤務に堪へずとて本年七月中辭職し其後一定の職業なく浮浪し本月初旬龍山漢江通り平田新聞店の配達夫に住込みしも是又辛抱出來ず二三日前同家の洋服及赤皮製靴等代金二十圓位を窃取し十一日下仁し花房町山口早旅館に投宿し同宿の客の縮緬を窃取し何喰ぬ顏で十二日仁川警察署前を通行中を同署の藤野巡査が擧動不審と認め本署へ引致し阪下刑事取調たる處此奴は龍山桃山樂福樓仲居れさとの情夫にして常に素行修らず通信局に雇はれ中は京城西小門通り愛媛亭の酌婦花子に現を拔かし太平町愛知館に一ヶ月餘の下宿料及南大門通り丸屋に十數日の下宿料等を支拂はず尙知人たる明治町佐藤利三郎方に至り夏羽織一枚代五圓餘を窃取入質し全部花子に入揚げたる事自白に及びけるが餘罪ある見込みにて目下野村警部取調中

淸國人を訴ふ

仁川京町一丁目雜貨商鬼頭兼次郎は淸國人當時忠淸南道公州郡公州府住姜作梅と去明治四十一年以來商取引の關係を結び姜の注文に應じ雜貨類を販賣しつゝありしに本年三月に至り四百一圓三十錢五厘の支拂不足となりたる上更に注文を受け百二十六圓七十六錢五厘を賣渡し且つ商品發送運賃二圓二十八錢を立替へたるも其後百二十五圓三十五錢の入金ありしのみにて殘金四百〇五圓は如何に督促するとも支拂はざるにより遂に姜を相手取り其筋に訴訟を提起したり

相棒の分も使ふ

大分縣北海部郡佐賀關村當時南大門通り學校東隣木挽職荻原國太郎(三六)は同鄕人捋熊吉なる者と共同にて櫻井小學校建築下請をなし工事就業中配下の者と成る夜新町第一樓に登樓し遊興費に困り元請負人より金四十圓を受領し熊吉の分迄費消したりとて告訴され取調の上身柄は放免され一件記錄は橫領罪として檢事局に送らる

賭博犯人珠數繋ぎ

仁川宮町一丁目人力車帳場內藤和吉(三)方に於て江下宇三郎(三六)菅原直三(三三)末次茂吉(三二)竹吉等(三六)田川庄三郞(二八)及內藤和吉內縁妻細谷ふじ(三九)七名は十一日夜十時頃車座に成て賭博の眞最中仁川警察署の手に取押へられ一同珠數繋ぎと成て引致され目下取調中

賣春婦拘留

仁川猫島二葉樓の酌婦河合まつの(二三)同高橋まさの(二八)及松山樓の酌婦中道ちか(十八)の三名は十一日夜密賣淫をなし其筋に引致され拘留二日に處せらる

搔浚ひ

熊本縣上益城郡廣安村五七五番地當時京城中部鉢里洞十一統九戶瓦斯會社職工平井乙松(三三)は鐵道官舍に忍入り靴三足を窃取し南部署に捕れ檢事局に送らる

五雲會例會

十五日午後十二時半より京城壽町有明樓に於て第五十六回例會を開くと番組左の如し

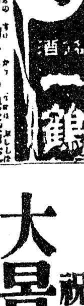
海人(野村氏、ゝ松寺氏、小泉氏、)巴(河合氏、田中氏)楊貴妃(有賀氏、ゝ島田氏)花筐(田淵氏、ゝ水越氏、三浦氏、ッ境氏)紅葉狩(細山氏、ゝ松田氏、植木氏、卜波多江氏)外に仕舞囃子數番

演藝だより

▲壽座 平凡倶樂部後藤良介一行十三十四兩日間演ずる代狂言は德富蘆花子作『不如歸』なるが同一行の場割は從來演じ來りたるものと相違あると云ふ今其場割を示せば左の如し

伊香保山中わらびがり、川島家佛間同客座敷、元の佛間、逗子の海岸不動堂前、片岡家應接間、川島家逗子の別莊、片岡家玄關先、川島武男歸朝の場、宇治の茶畑、山科停車場、浪子の臨終、青山墓地浪子の墓場の全十三場にして重なる役割は如左

川島武男(藤野)浪子(松下)山木兵藏(內田)千々岩安彥中將夫人(深津)加藤夫人(藤田)乳母いく(雪岡)千鶴子(北子)浪子妹道子(平田)毅一(小水野)片岡中將、川島慶子(後藤)



▲御成座 片岡鶴之助一行の浪花節芝居にして極めて好人氣なり

▲浪花館 落語音曲手踊等なるが十三日(二日目)の番組左の如し

二人旅(枝輔)遊散船(圓松)神樂曲藝(鷹樂)高尾(圓三)れふみさん(小圓)輕口雀れどり(圓三、圓松)畜生車(芝鶴)奇術(喜代子)猫久(福圓)かつぽれ(惣田)

廣 告

謹告

小生儀仁川在官中ハ各位ノ御懇情ヲ辱フシ殊ニ昨日出發ノ際ハ態々御見送リ被下御厚情ノ程奉感謝候乍略儀不取敢紙上ヲ以テ御禮申上候 敬具

十月十三日 島重治

官民各位

第三十八號

工事請負入札公告

一、壽町一丁目暗渠修繕工事

此入札保證金各自見積價格ノ百分ノ十以上

入札者ハ滿二箇年以上斯業ニ從事シ現ニ居留民團稅若クハ直接國稅金五十圓以上ヲ納ムル者ニ限ル

右工事競爭入札ニ附ス請負希望ノ者ハ仕樣書、繪圖面、規則書及實地等熟覽ノ上本月十六日午前十一時限リ入札書ヲ當民團役所ニ差出スヘシ卽時開札ス

此契約ハ本民團民長古城菅堂之ヲ擔當ス

明治四十四年十月十二日

京城居留民團役所

一鴨綠江原木安賣

御注文に依り製材の御注文に可應候

但注文の節は京城黃金町明金渉(電話一四九九番)阿部へ御用命被下候へば早速御相談に罷出すべく候

安東縣四番通六丁目

製材所 實崎万作

◉土地家屋賣却廣告

一藥善坊(花園町)後洞契後洞六十五統八戶

一土地六十七坪余 溫突五間付

一昌善坊(東大門內)兩仕洞契養士洞四十八統六戶

一日本式家屋取壞し二十四坪

右廉價賣却御用の方は下名へ御來談を乞ふ

黃金町三番戶四號(電話一一四九番)

酒井組

大阪人會秋季大會廣告

一日時 十月十五日午後一時

一場所 旭公園下白水

一會費金貳圓(但同伴者金壹圓)

右ノ通秋季大會開催致候間大阪ニ緣故ヲ有セラル、方ハ奮テ御來會被成下度希望致候也

追テ十四日中ニ左記最寄幹事へ便宜御申込被下度候

京城大阪人會幹事

本町四 木島時計店　本町三 池田長兵衛
本町四 渡邊中濟　旭町一 宮津一郎
本町四 三田政次郎　明治町二 大島良吉
同 野々村藤助　南大門通三 新井藥房　本町五 中村政次郎

祝開店三週年 大景品附大賣出し

十月十五日より二十五日迄

本場秩父縞 四圓八十錢 五圓五十錢 均一

甲斐絹尺廿錢より廿五錢 美術半衿組類

景品目錄

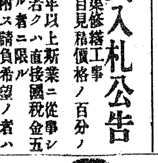
第一等 秩父縞座ブトン 二十枚
第二等 秩父縞 一疋
第三等 秩父紅絹 一疋
第四等 秩父白絹 一疋
五等より十二等迄 秩父縞一反宛
第十三等より第十五等迄 秩父紅各一反
第十六等より第二十五等迄 金巾各一反
第三十五等以下 半衿手拭數白木一本も空籤なし

御買上參圓(現金に限る)毎に景品券一枚呈上仕候景品は即時御引替申上候

秩父屋

京城明治町一丁目

關根出張店 電話四十三番



浪花節大家 吉田奈良丸 新曲著荷

ニッポノホン

目錄無料御用進呈す

取次販賣希望者照會乞ふ

株式會社 日本蓄音器商會

京城本町五丁目 電一二八三

朝鮮大特約

京城本町一丁目 熊平支店
京城本町二丁目 辻屋
平壤大和町 丸吉商店
釜山辨天町 福榮商會

●諸公債諸株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候 兼業 {既製洋服卸小賣 官衙御用達} 京城本町三丁目 大阪野村商店代理店 田中友吉商店 電話九九三 振替電話(ク)

中央大學在外員募集

遠隔の地方に在り又は業務の爲め登校して授業を受くる能はざる所の外員を募集す○本月を以て在外員學年の始期とし既に四十五年度新講義錄初號を發行したり在外員志望者は此際入會するを最も便とす○各講義錄登載の科目及擔任講師姓名、在外員の特權、月謝其他詳細なる規則書は申込あり次第送付す

法律科講義錄 は本大學法科の講義を編纂したるものにして法科の學級と同じく三學年に分ち各學年共一箇年にて完結す○在外員は各學年を兼修し得るが故に研究の餘力ありて三學年を兼修せば一箇年を以て全科を修了し得べし○新學年の授業擔任講師は仁井田、奥田、岡野、金井、横田、中村、上杉、山田、松本博士を始め二十餘名にして司法官、辯護士、高等文官等各試験委員を網羅し例に依り學年と共に材料を一新して復た陳套なるものなし

經濟科講義錄 は本大學經濟科の講義を編纂したるものにして經濟科の學級と同じく三學年に分ち各學年共一箇年にて完結す○本講義錄掲載科目は經濟學總論、純正經濟學、貨幣論、信用並銀行論、交通政策、商業政策工業政策、社會政策、殖民政策、財政學、統計學、簿記學、民法、商法、憲法、行政法、國際公法國際私法、經濟地理、及商業史等にして最新學派の系統に據り整然たる分類の下に細を擧げ細に入りて説述し斯學界の獨歩たり

明治四十四年十月 東京神田錦町 中央大學

◆用法は作物の名を示し下記へ御照會◆

◆◆智利硝石普及會東洋本部 東京市麹町區馬場先六番 電話本局二九八九

▲月經をつうじ子宮病を全治す

月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす

月經不順 最良新藥 二十世紀の新藥 每月丸

藥價 一日八錢半週分廿五錢一週五十錢 二週分壹圓 三週分壹圓四十錢

京に月經異動ある人持藥とせば毒血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也

本舖 大阪心齋橋二丁目 丹平商會本店 支舖 東京日本橋箔屋町 丹平商會支店 ▲賣捌は東京市內其他各店に取次す

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番●千六十八番 振替口座京城十六番

物理化學機械 模型標本類 體操及運動具 教具校具一式 測量製圖機械 水彩及油繪用品一式 和洋紙帳簿一切 歐米文房具

●●新案韓語栞 發賣所●● ●●國語指南●● 朝鮮京城本町三丁目 平田商店 教育用品部 達部 電話一一五番 電信略號(ヒ又はヒラタ) 振替口座京城四六八番

米豆 定期 現物 仲買 仁川米豆取引所仲買人 ヤ橋本彌三郎 電話一〇七番 京城踏町 ヤ橋本出張所 電話一六八二番

夜間診察は九時迄 入院隨意 六〇六號注射の需に應ず 仁川病院 電話一六番

文房具 洋紙 度量衡器

日本政府檢定濟 度量衡器特許輸入販賣所 シノサキ本店 京城本町一丁目(郵便局前) 電話七百五番 電話長六四八番 振替口座朝鮮一五四番

鑛山用 道具用 職工用 英國セフヒールド市 シーボムアンドデイキスタル製鋼會社特約品 地球鷲印八角鋼 同 角磨鋼 同 鑢各種

右は朝鮮一手販賣罷在候處清鮮地石材穿鑿具(製作用)さして最も適當の爲め至極好評を博し價格亦內地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候

京城本町五丁目 和洋金物商 藤本藤次郎本店 (電話四五番)電信略號「ク」振替貯金口座京城二五六番

總督府及諸官衙御用 荷物運搬 引越荷物受負 伊藤組 本町三 電話四〇番 南大門驛 電話七三二番 大和町 電話九四八番 同第二 電話一六〇八番

効能ある温泉

浴用効能 りようまちす、ちうふう、しんけいつう、せんき、かつけ、らいびやう、ばいどく、せいでき、もの、りんびやう、しやうかち、しきゅう、ぢのいたみ、つきやくふぢゆん、ひせんがんがさ其他皮膚病一切

外用効能 きりきず、やけど、しもやけ、ただれ、あたまがさ、うちきづ、ひぜん、はのいたみ、いんきん、たむし、うあせぼ、まんせいできもの、ひんけつ、しんぞう、かびよう、ちようかたる

內用効能 ひつう、りようまちす、いびよう、はいびよう、たうだん、かつけ、しんけいたみ、病後衰弱、りんびやう、せきずい、じんぞう、ちゆうふう、げり、はらいたみ、しようかち、しきう、酒のよい

旅館 浴客 貸席 鐵冷温泉 京城長谷川町一丁目韓銀建築所北横手(電話一四一一番)

京城南山町二丁目 小倉齒修所 (伊藤組南に入る)

◎南大門道路擴張の爲め南大門驛より約西半丁精米前所に移轉 ◎目下南大門驛前に三階建家屋新築中不相變御贔負を乞ふ

旅館 蓬萊町 東洋館

S.K.S

土耳古貰 エスケーエス

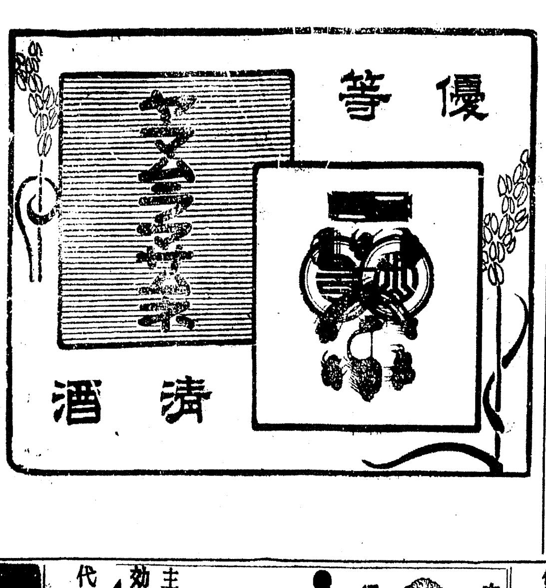
專賣局定價 一號金六圓 二號金五圓 なれども朝鮮內は大安賣

特約販賣店 京城辻屋、龍山貴田、木浦冲永、馬山西川、公州中芝、平壤廣昌洋行、鎮南浦宇津木

仁川 オチ商會 電話七三八 (電略オチ)

紙と印刷

諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本 諸官衙御用 播本商店 京城本町六丁目 電話百拾番



●京城市內の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候● ●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

概略營業品目

和洋帳簿諸紙類 文房具學校用品 卷紙封筒手帳類 帽子洋傘クツ鞄 洋服附屬品一式 メリヤス類一式 毛布膝掛馬車掛 石鹸香水齒磨類 タオル、ハンカチフ 手袋沓下袋物類

正札 一 引なし

官衙、陸軍 銀行、會社 御用達 京城本町四丁目 池田長兵衛 電話二百〇六番 和洋雜貨卸小賣商

米 株 山 京城古市町(南大門停車場前) 米穀有價證券現物問屋 合名會社 柴山組 電話一二一九八增設電話一六八八番 相場高低表電話日報及店員を派遣して御知らせ致します

新荷着 厚物 薄物 浪板 平板 鐵板各種 各種 垣用線 和洋金物商 佐野彥藏商店 京城本町貳丁目 電話一六三番 振替口座京城一二〇番

腸胃新藥 タカヂアスターゼ 東京三共合資會社朝鮮總代理店 仁川本町 竹田津三平

キ 安東丸 天草丸 成歡丸 海利丸 成歡丸 仁川丸 中 十月 滊船出帆 廣告 安東丸 浦州行 十月十日前 天草丸 浦州行 十月十四日前 成歡丸 宮島行 十月十日前 海利丸 海州行 十月十五日前 成歡丸 大連行 十一月十六日前 仁川本町四丁目 電話一七三番七七〇 合資會社 秋田商會船舶部

尾州半田 中埜本家 酢 清 特約販賣 仁川 京城 高雄支店

主効 ▼消化不良 ▼胸腹の痛 ▼吐き下し ▼口臭口熱 ▼食慾不振 ▼悪阻害酔 ▼嘔吐暈眩 ▼音聲美妙 ▼頭痛目眩 ▼船車の暈 ▼酒後過食 ▼煙毒消除

●秋口は何人も胃腸を害ひ易ければ食後食後に仁丹五六粒宛を缺さず御服用あれ

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話一〇六八番 九〇四番 振替口座京城十六番

健胃下服丸

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番千六十八番 振替口座京城十六番